

# 工事設計概要書

○以下工事を行うために実施設計を行う。

## 1.目的

耐用年数を超えている施設設備を計画的に改修していくことで、市民病院を利用する患者やその家族に対し、安心安全な医療サービスを提供することを目的とする。  
このことから、施設機能を保つため、空調機器等の改修、照明器具等のLED化及びキュービクルの改修を行う。

## 2.施設概要

名 称	志摩市民病院
建 築 年 度	旧館 平成9年 新館 平成20年
構 造	旧館 RC造 新館 RC造
延 べ 面 積	旧館 3,524㎡ 新館 1,761㎡

## 3.設計内容

- 空調設備等改修設計（新館、旧館すべて）
  - ・空調方式についてはイニシャルコスト、ランニングコスト、改修工事における施工性・安全性、利便性当、総合的に比較検討すること。
  - ・冷媒管等も劣化が見られるため、現地調査の上、改修をおこなう。
  - ・施設の運営に支障にならない限り、既設配管等は可能な限り、撤去をおこなう。
  - ・高効率の機種を選定し、既設空調との比較資料作成すること。
- 照明器具等のLED化（新館、旧館すべて）
  - ・敷地内すべての照明器具、非常照明、誘導灯をLED化をする。
  - ・一部 照明器具等のLED化がなされているため、改修の有無については調査結果の協議による。
  - ・LEDライトの色調については、提案のうえ、施設管理者の確認をとること。
- キュービクル改修工事
  - ・空調改修、照明器具の改修にともない、キュービクル容量のダウンサイジング化を図ること。
  - ・キュービクルの改修においては、電源供給において施設の運営に支障のない計画をおこなう。
- 上記工事における、施工上必要な個所についても更新をおこなう。

## 4.その他

- 入念な現地調査を基に既設の状況を把握したうえで設計を行い、施工時に支障のないようにすること。
- 居ながら工事となるため、業務、機器運用に支障を与えないような計画を検討するとともに、可能な限り、騒音、粉塵の発生を防ぐよう仮設計画、工事計画、概略工程の立案をおこなう。
- 概略工程については、病室等のゾーン分け(工事期間の移動を想定)、診察室等の施工可能な時間帯を施設管理者と協議し、反映すること。
- 施設管理者の意見を十分反映した改修工事の設計を行う。また施設管理者に検討・工事内容を説明すること。
- 工事発注年度による単価入替等の業務を見据え見積もり徴収を行うこと。
- 精度の高い概算工事費、概略工程表を10月末に提出すること。
- その他、詳細は打合せにより監督職員との協議による。

## 5.重要事項

- この施設は365日24時間稼働しており、患者様も入院している状態で工事を行う事を想定し、設計に反映すること。